

支配 刻印

3





どこへ
向かってるの？



ちようど新しい女を
欲しがってる
お得意様がいるんで

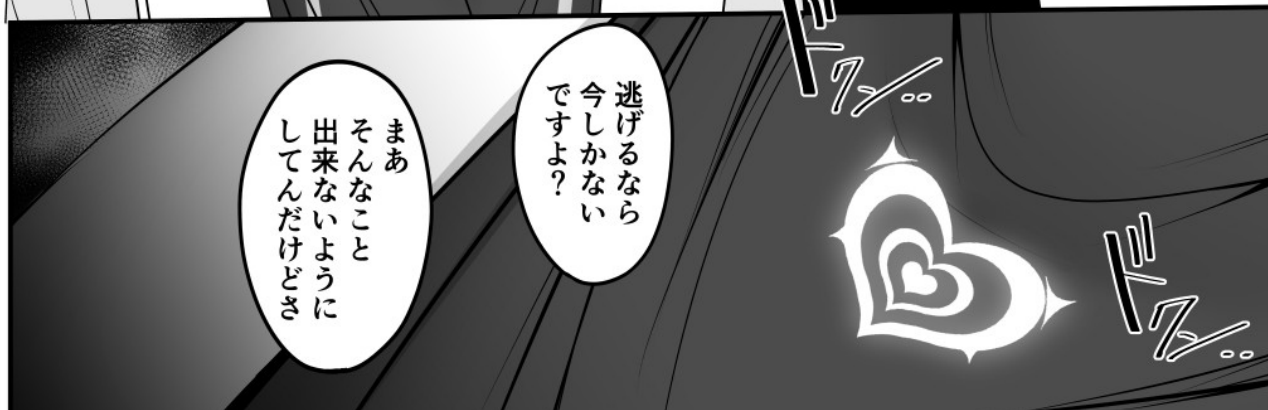
きっと可愛がって
もらえますよ
…へへ



行けば
分かりますよ

いや、先生には
十分楽しませて
もらったんですけどね

そろそろ
金に換えさせて
もらおうかなと



逃げるなら
今しかない
ですよ？

まあ
そんなこと
出来ないように
してんだけどさ



見たところ
普通だが…

本当に支配魔法の
影響下にあるのか？

今は常時
認知阻害が
発動しています

目の前で
こんな会話してても
無反応でしょう？



冒険者の女…
しかも魔法職

それがこんな状況に
置かれている…
相当なレア物です

信じられんな…

よくもまあ
こんな女を
見つけてきたもんだ



どれどれ
身体の方へと

あ…

何かこっちを
睨んでいるが
大丈夫か？

そこまでは
制限してないんで…
俺はこれくらいが
好みなんです

気になります？
そこも自由に調整
出来ますよ

でどうですかね
この女

一千と言いたい
ところですが
八百でー

ずいぶん
吹っ掛けるな…

まあまあ
ではとりあえず
一週間程試してから
決めてください

…なるほど

ふむ…

破格だって
分かりますよ

何か他に
懸念点でも
ありますか？

腐っても
魔術師だ

突然正気に戻って
攻撃してきたり
しないだろうな？

ああ……
それは当然
心配ですね

では契約魔法で
縛りましょう

おお！
準備が良いな！

主人に危害を
加えようとした瞬間
身体の自由を
奪う内容です

はい今
自分の手で契約を
結ばせました

はは
全く読まずに
サインしたぞ

分かった
分かったよ

そこまで
言うのなら
試してやろう

一週間後
またワシの所へ来い

契約が完了
しました

普段は
見えませんから
お気になさらず

なるほど…
これは面白い

ん？
どうした
大丈夫か？

では女は
こちらで預かるぞ

へへ…どうも
絶対気に入りますよ

…じゃあな
先生

……



しかし
とんでもない
恰好だな...

冒険者の女の
考えることは
分からん...

あっ...

こうして
ほしくて
着てるんだろ?

んっ

んっ

んっ...
やめ...



んっ

あ...

あ...

んっ

ふむ...
大きさは
申し分ない

まずはこれで
奉仕して
もらおうか



ああ
もっと強く
締め付けてー

こ…
こうでしょうか

初めてにしては
悪くない

そうそう
上手上手

ギョウウウウ

んっ…
うおっ

でっ
出るっ！

ビッ



強すぎだ馬鹿
思わず先走って
しまったじゃないか…

あ…

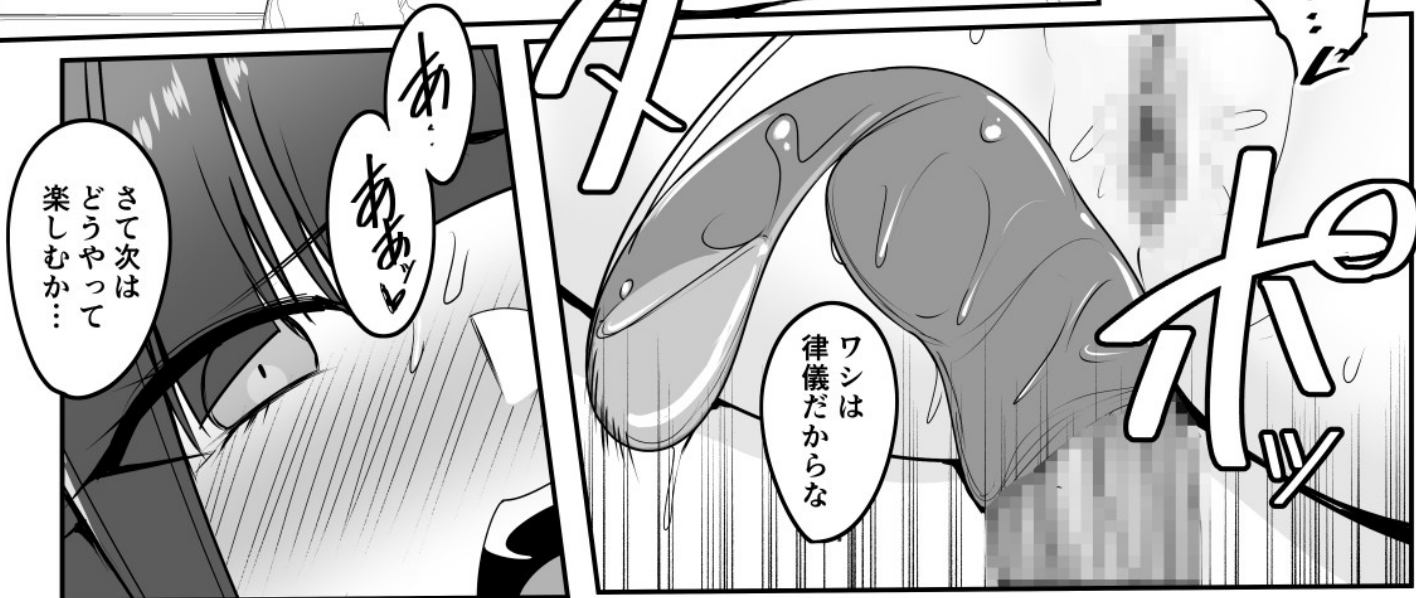
ごめん…
なさい

ふふ
分かれば
いいんだ

次は下の具合だな
服を脱ぎなさい







やはり
良く似合っている

ビッ

こんな
馬鹿みたいな…
おっと

愛くるしい服装は
スケベな身体の
お前にぴったりだ

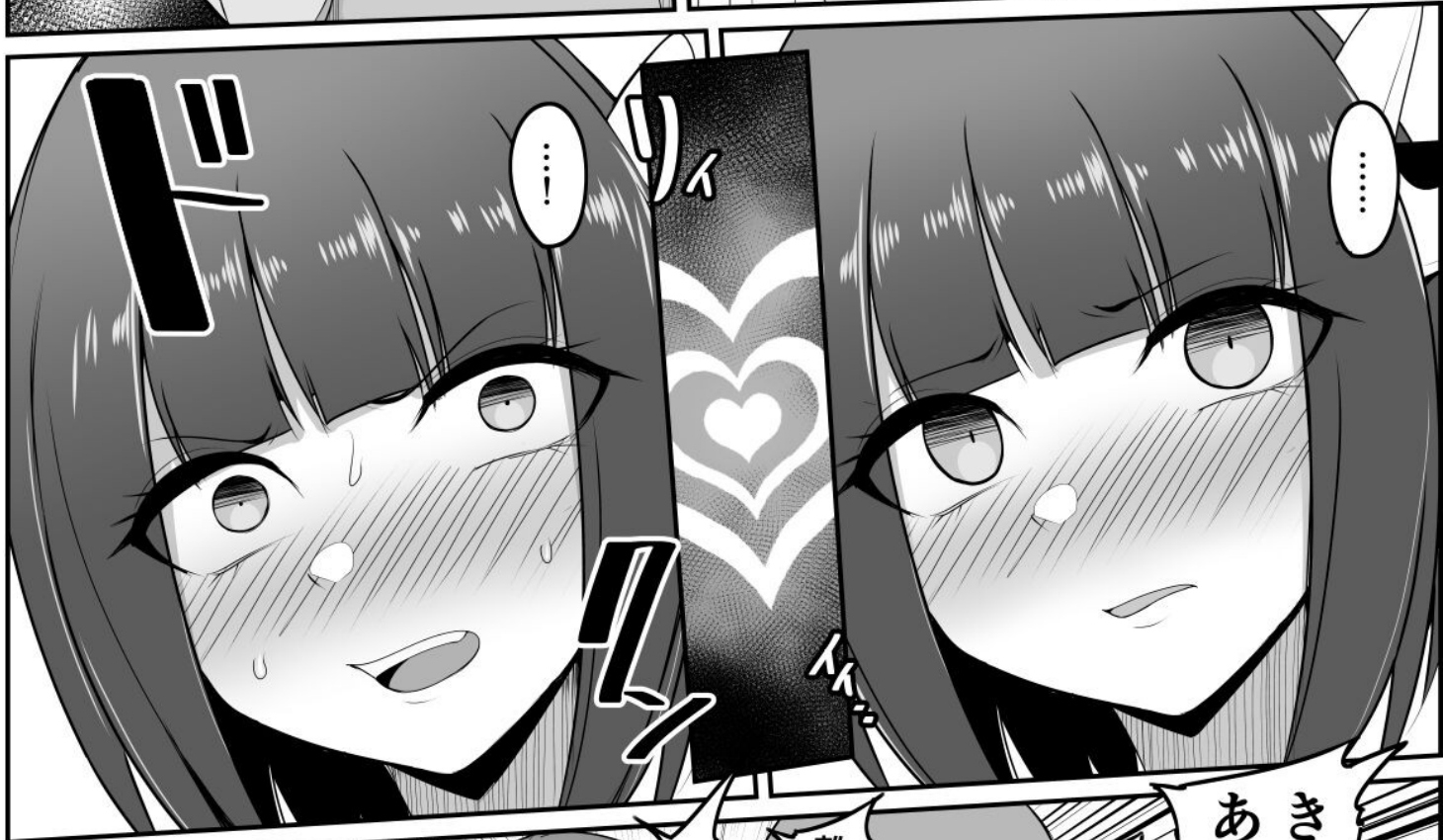
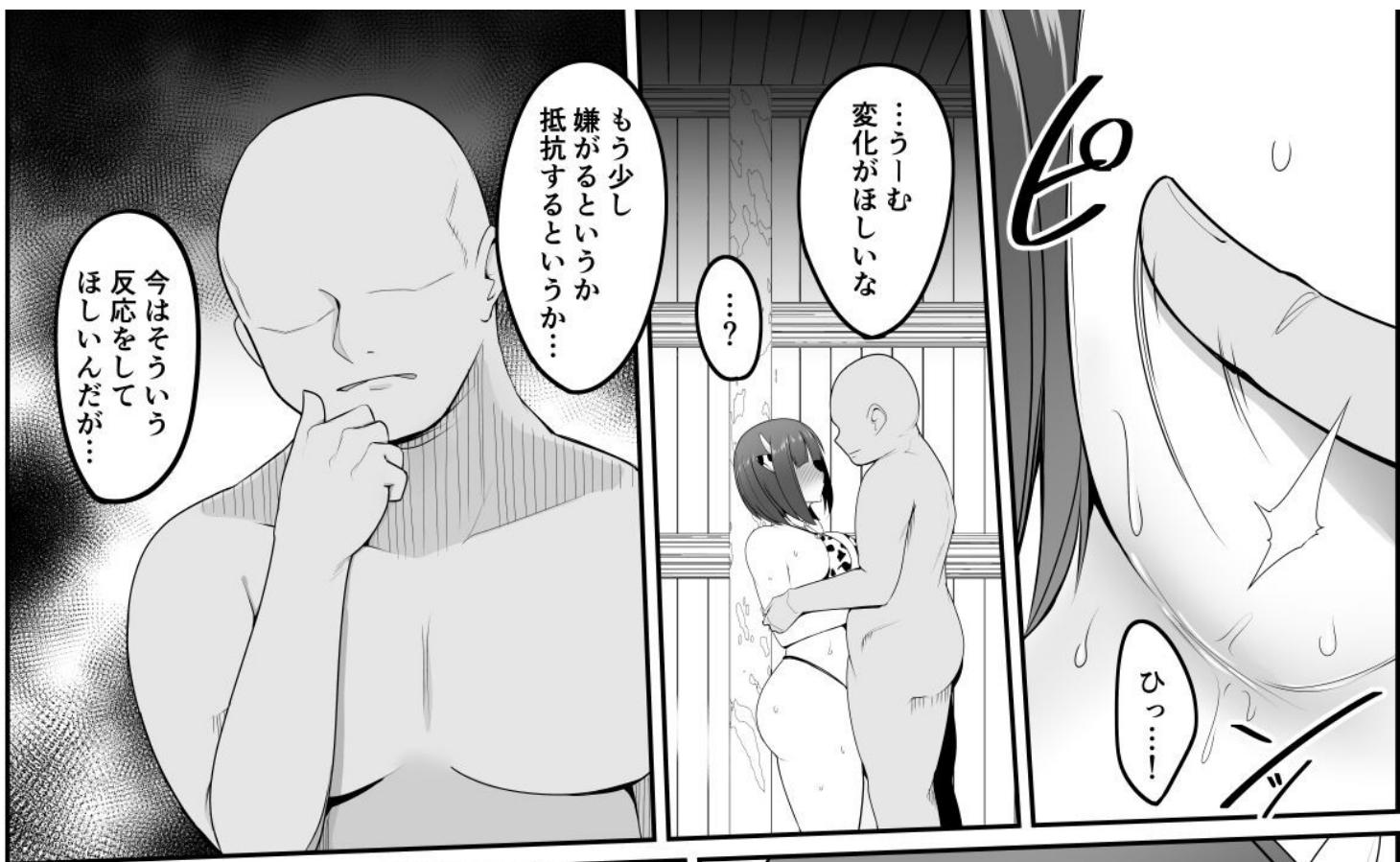
おいなんだ
その態度は？
腕を上げろ

腋を
見せるんだ

ふふふ…
素晴らしい

ビッ

甘い香りが
漂ってきたぞ…♡





…なんだ
急に静かに
なったな

もしかして
抵抗している
つもりか？

そうだ
我慢なんぞ
止めてしまえ

うっ…

…しっかり
受け止めるよッ

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

下着

はちゅ

はちゅ







一週間後

使い心地は
いかがですかね？

ちはー

いや
素晴らしい

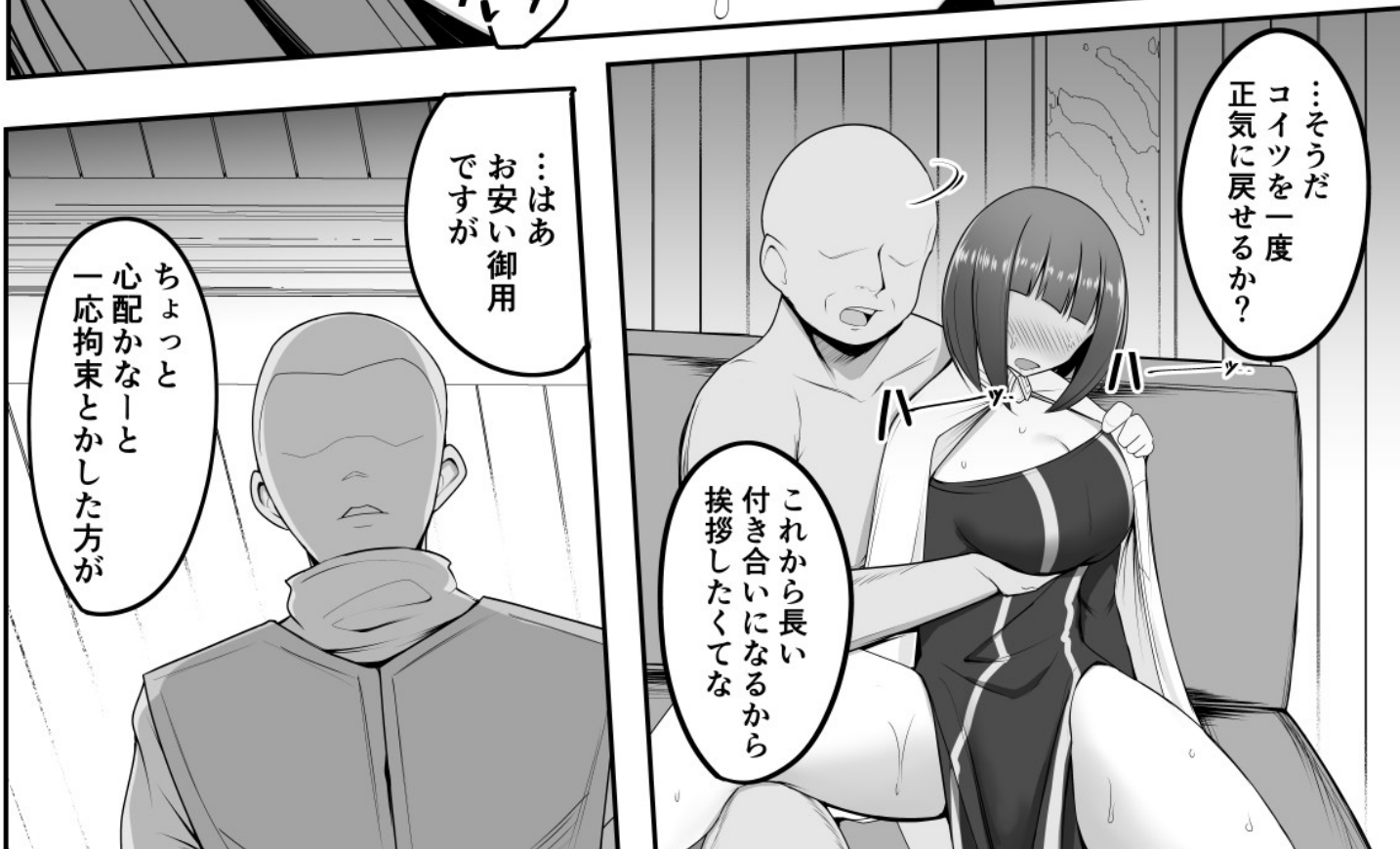
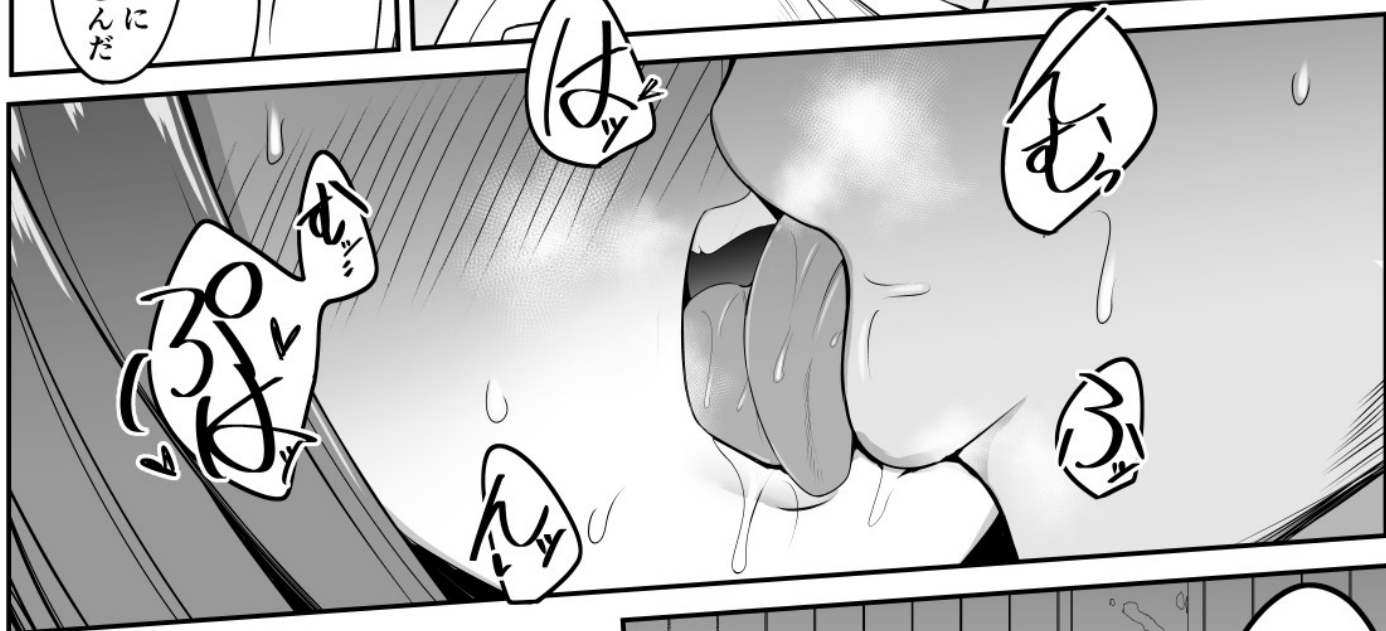
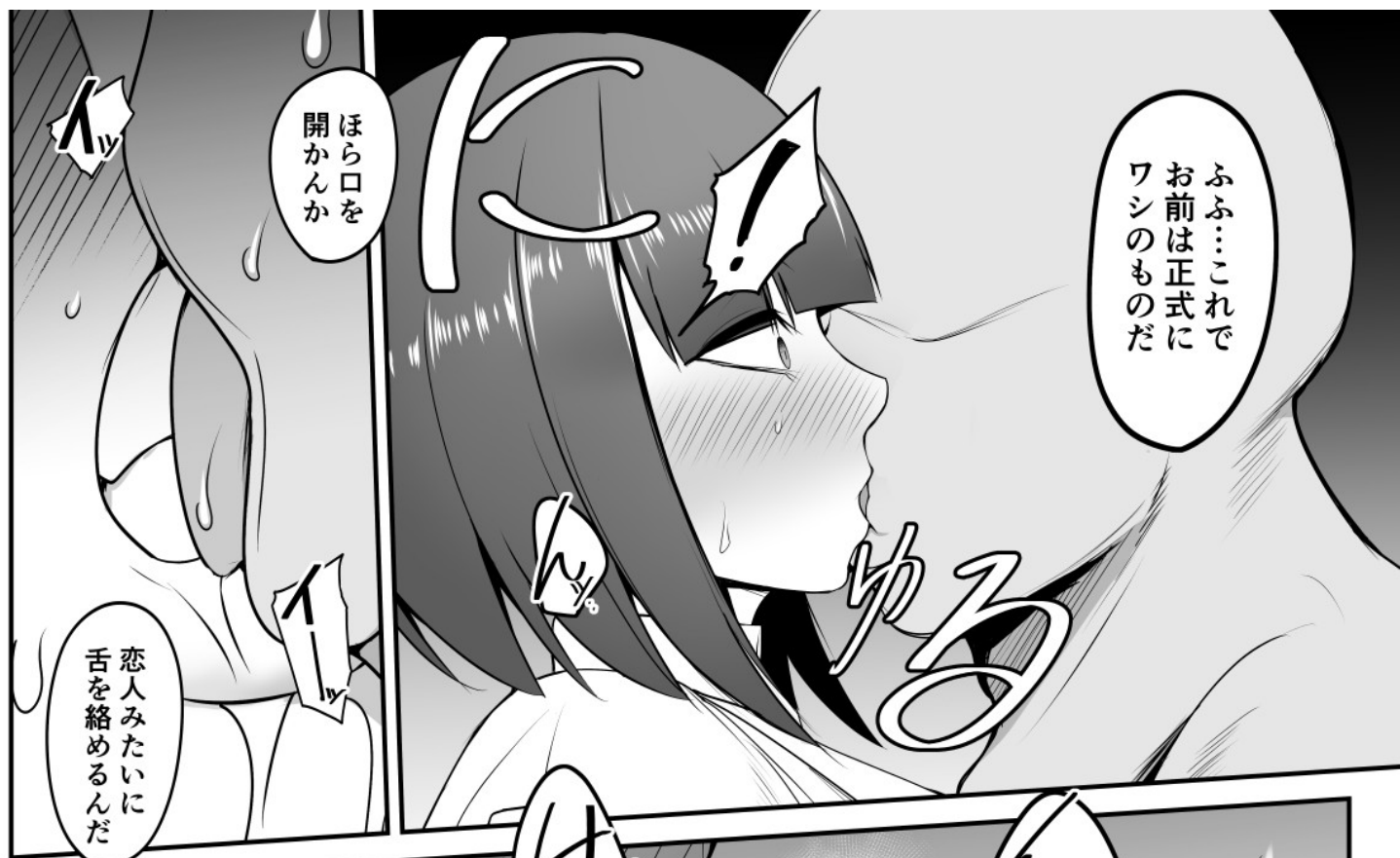
よくこんな女を
連れてきてくれたな

少し撫でれば
たちまち
溢れてくる淫乱だ

気に入って
頂けたようで
何よりです
それじゃー

ああ
当然買い取らせて
もらおう

へへ…
どうも！







何の音だ？

...

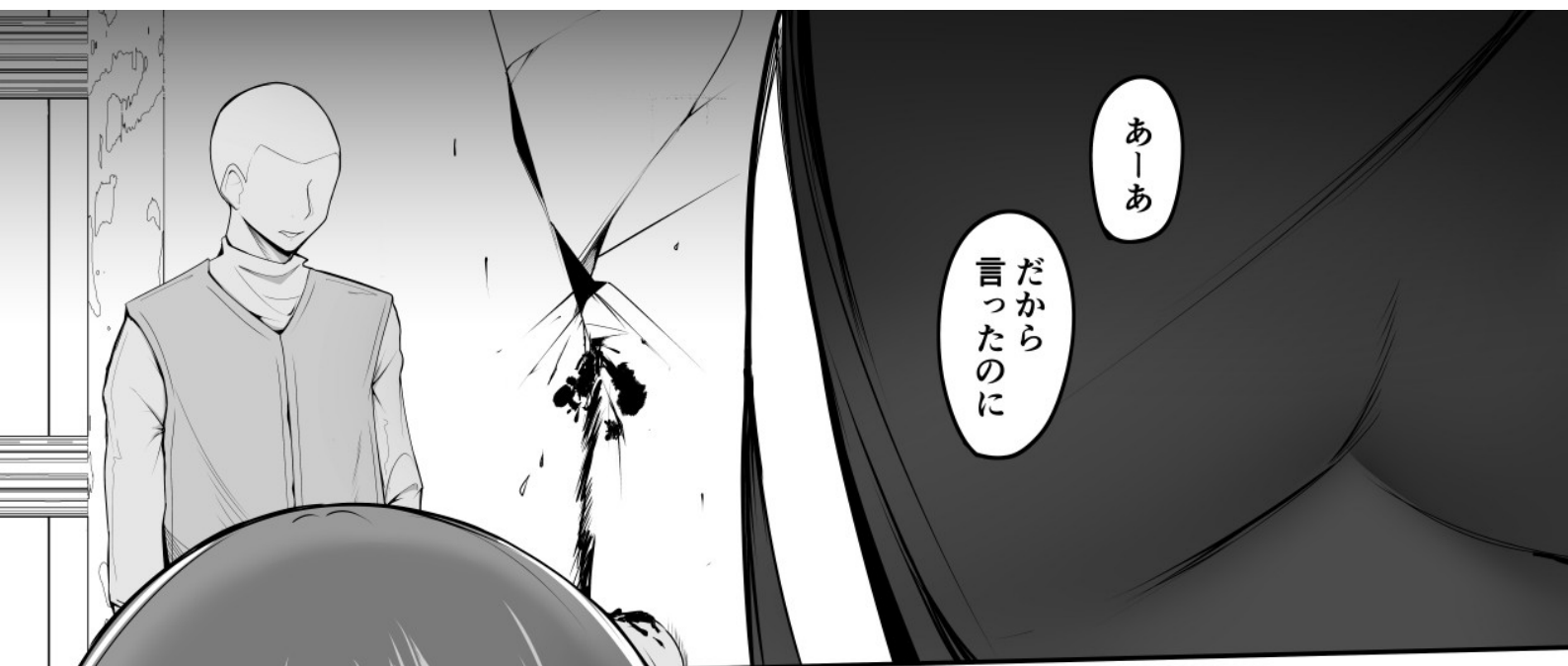
カんで
外しちゃった

なんだって？

ツツツ

ウ..

トッ



あーあ

だから
言ったのに



で
最後の言葉は？



…前は
気が動転してたわ
すぐ行動すれば
良かったのに

私の身体に
何をされたかは後々
ゆっくり調べればいいー

アッ..



…前も
こんなこと
あったな…

は？

その時は
殺されると思って
心底
ビビッちまったけどー

今は
プレイの一環にしか
思えないんだわ

スト

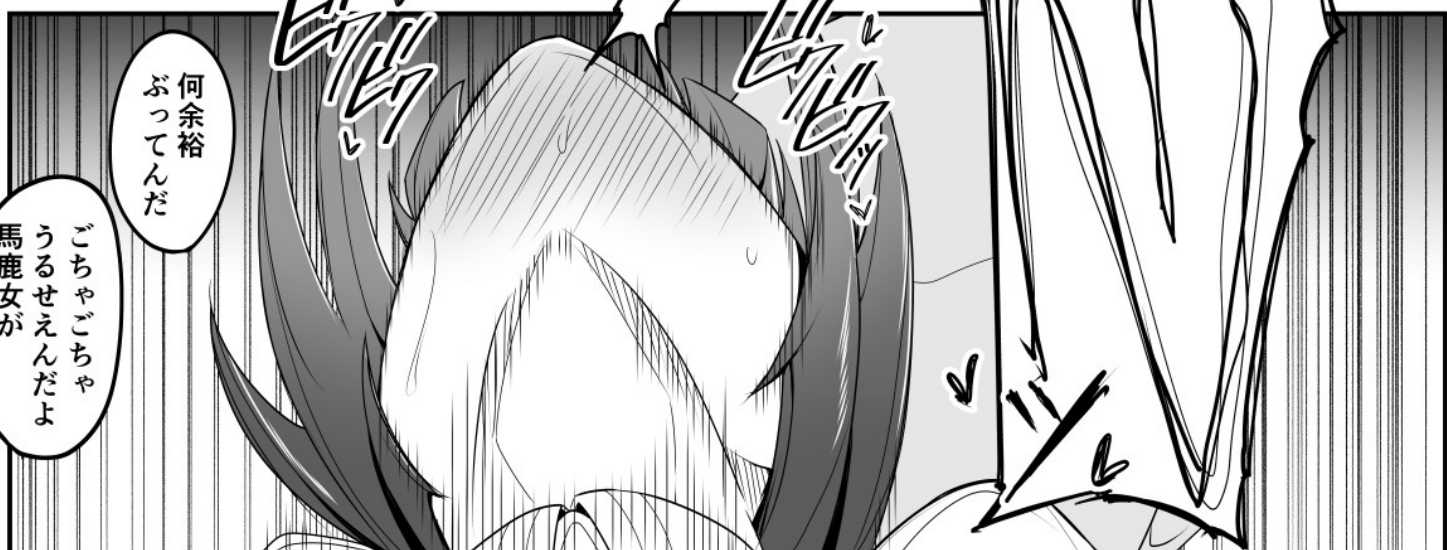
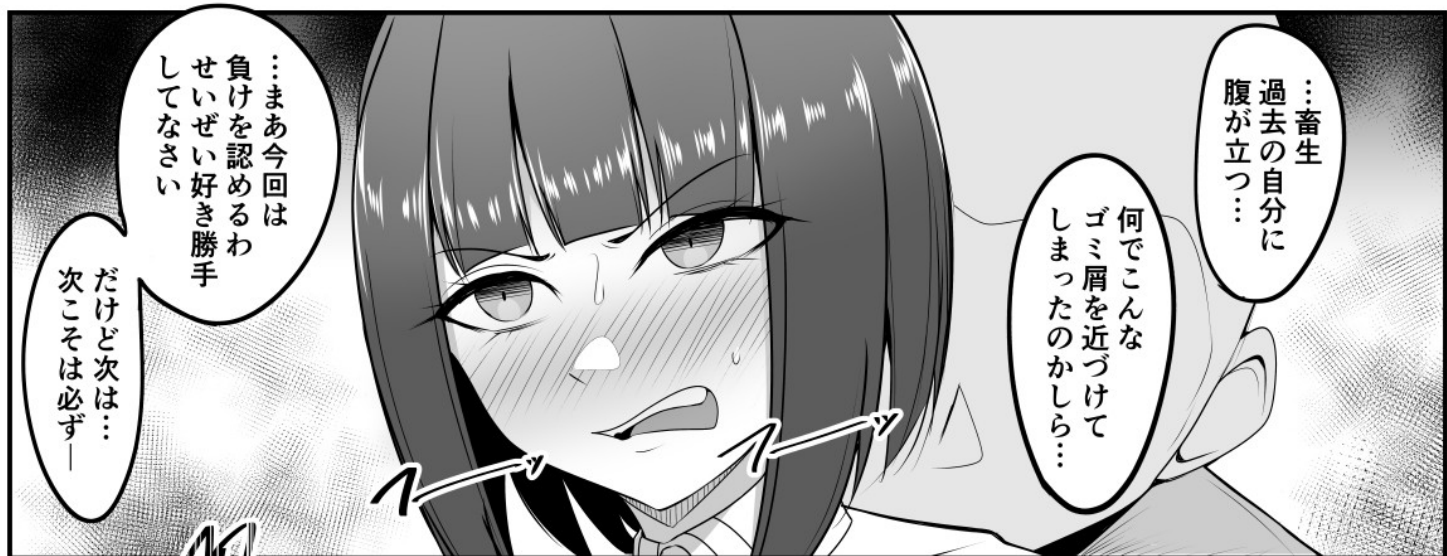
か...身体が...

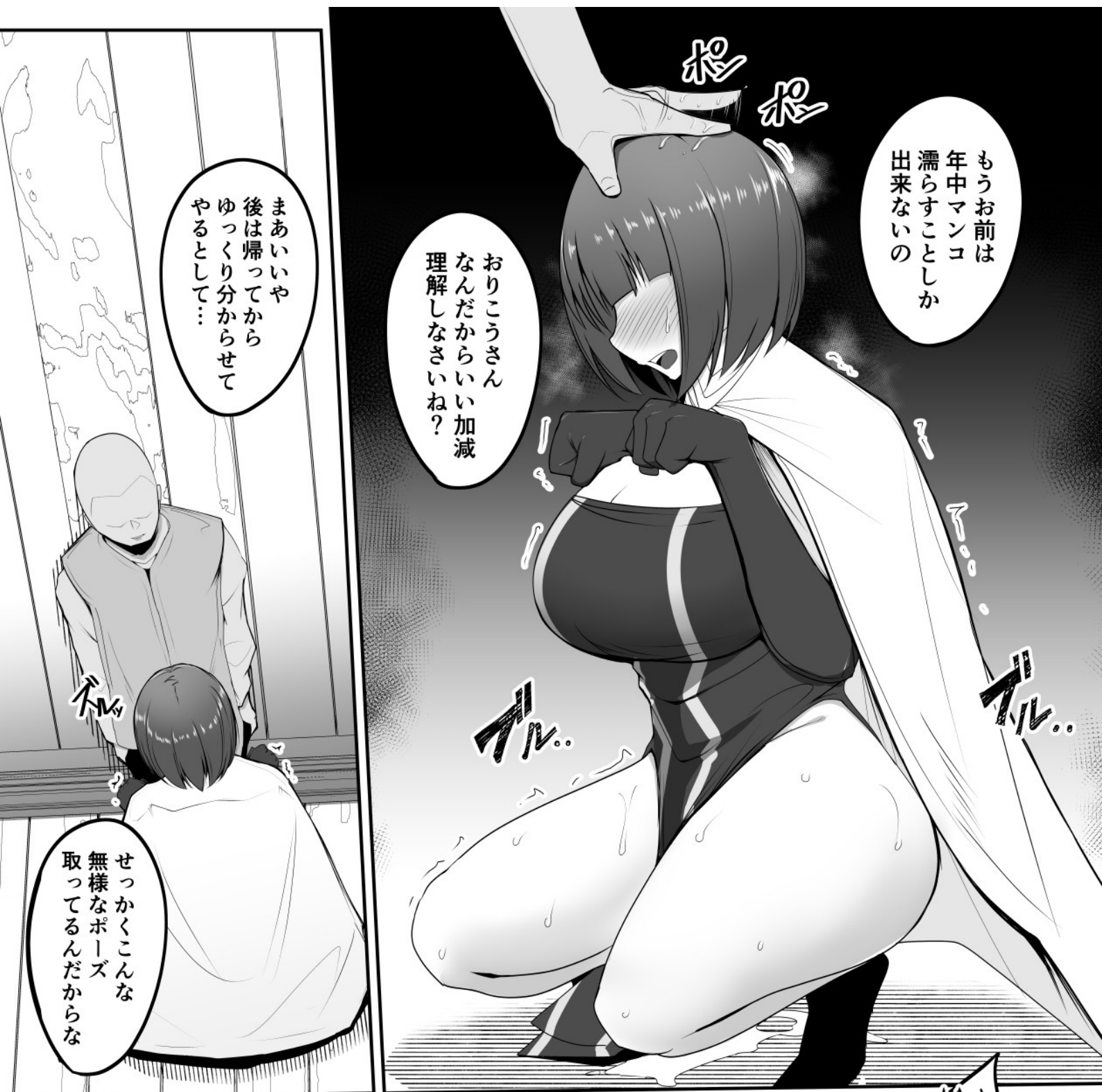
動かな...

お前の主人は
俺だからな

俺に危害を
加えようとしたから
身体の自由が
奪われた





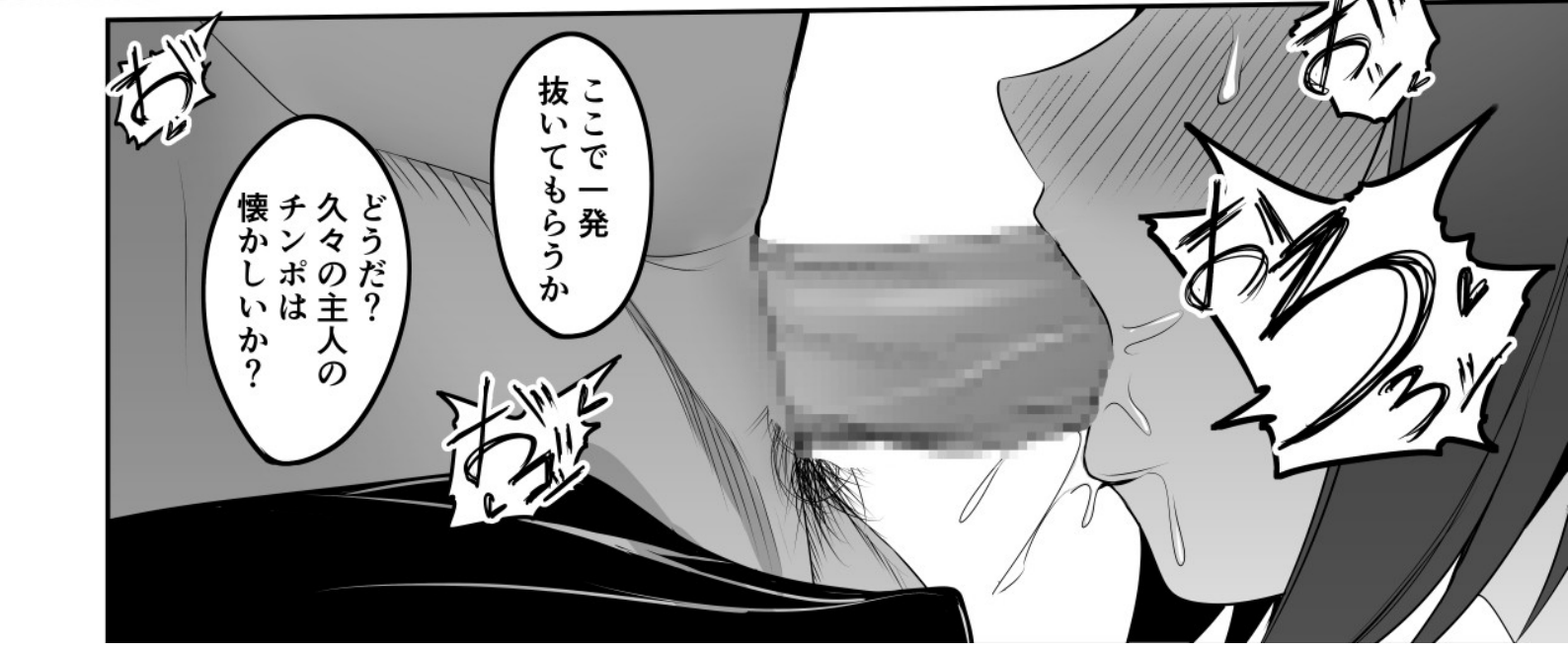


もうお前は
年中マンコ
濡らすことしか
出来ないの

おりこうさん
なんだからいい加減
理解しなさいね？

まあいいや
後は帰ってから
ゆっくり分かせて
やるとして…

せっかくこんな
無様なポーズ
取ってるんだからな



ここで一発
抜いてもらうか

どうだ？
久々の主人の
チンポは
懐かしいか？

自分が今
どんなに惨めか
意識しながら
一生懸命しゃぶるんだぞ





うーん

この玩具は
見た目面白いけど
微妙かな

あれ……
大丈夫か？

おーい
しっかりしろ
俺がやつとして
何だけど

……
ご心配なく

それより
もう催眠は
いいのかしら？

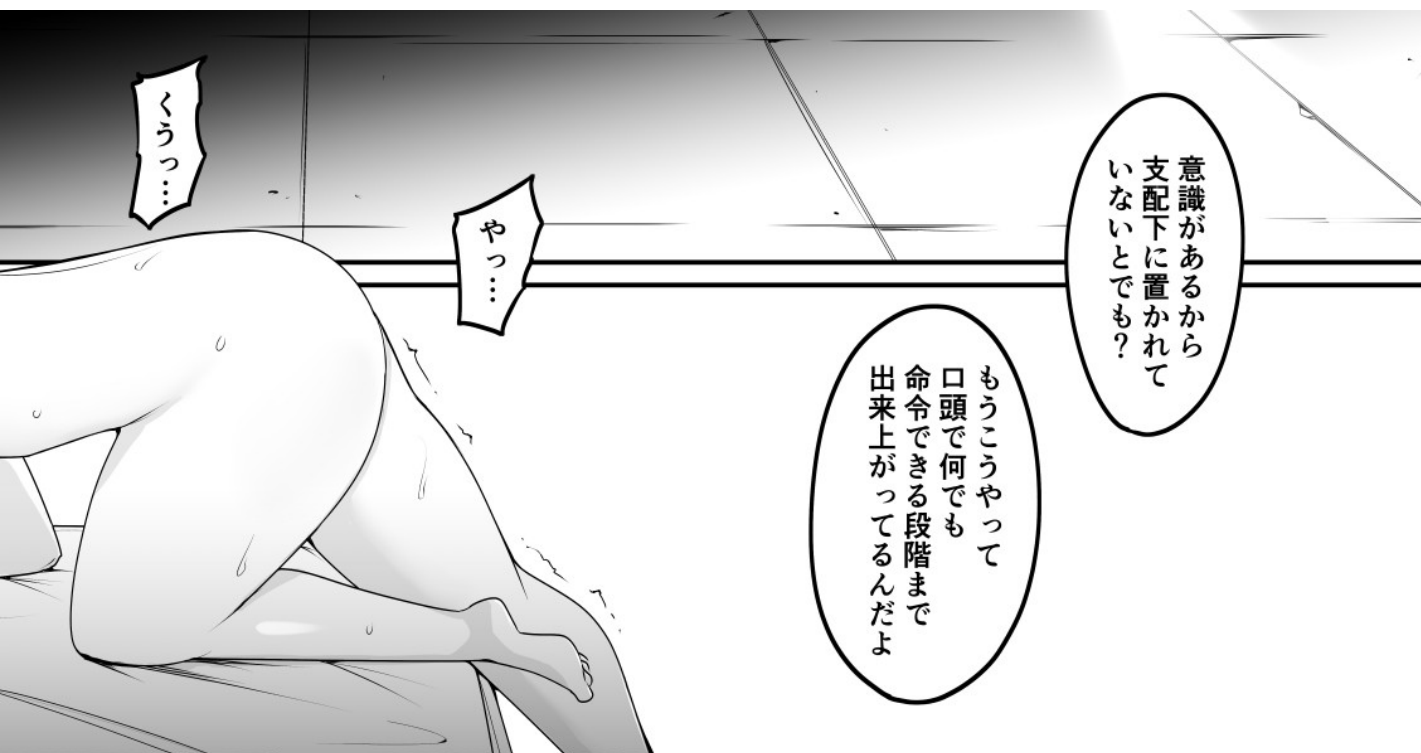
は？





『ベッドに
四つん這いになって
ケツ突き出せ』





意識があるから
支配下に置かれて
いないとでも？

もうこうやって
口頭で何でも
命令できる段階まで
出来上がってるんだよ



じゃないと
こっちも遠慮なく
捌れないしな

けどまあ
まだまだ張り合いが
ありそうで良かったわ



どうだ?

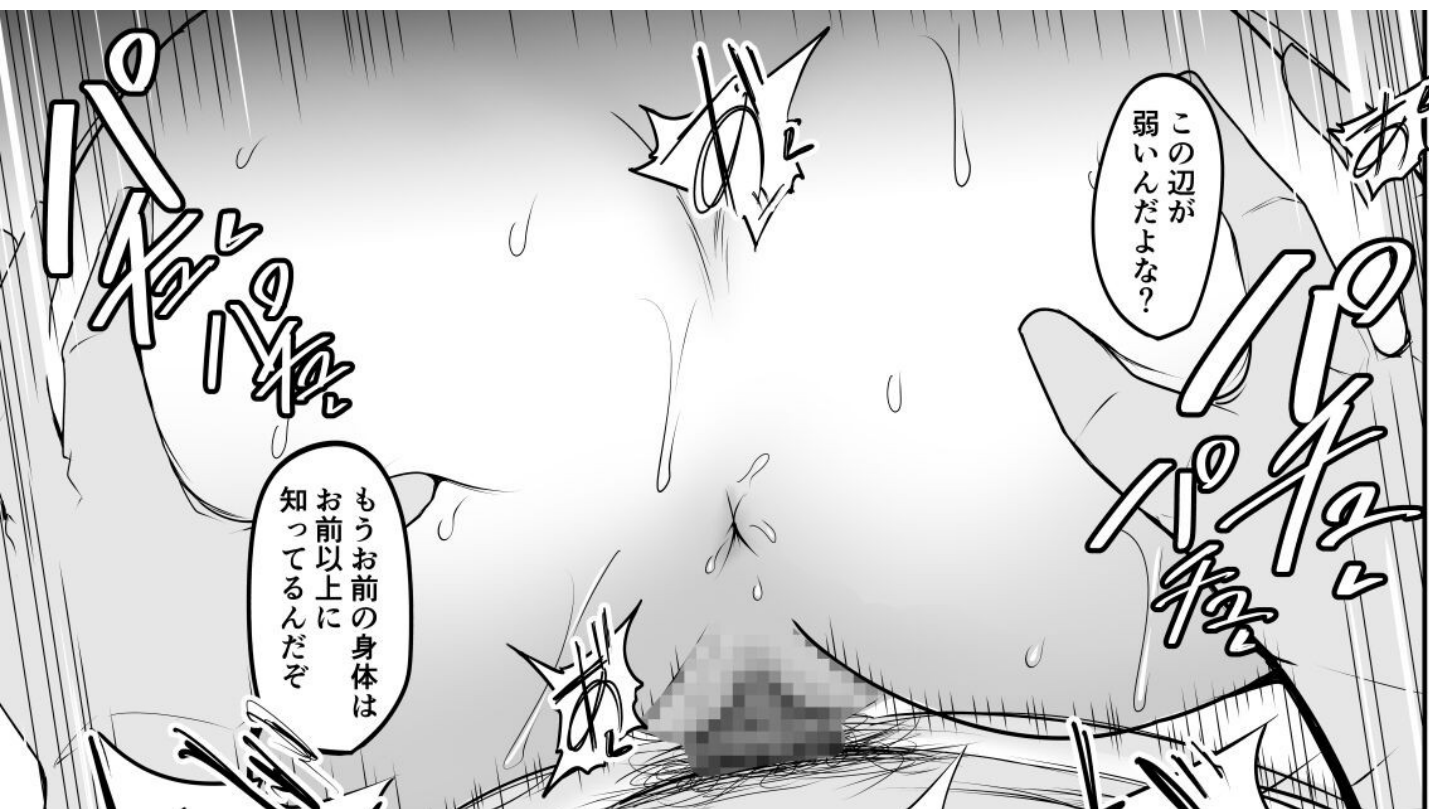
やっぱり俺のが
一番良いだろ?

あ
...

ああ
...

あ
...

アッ
...



この辺が
弱いんだよな？

もうお前の身体は
お前以上に
知ってるんだぞ



はは
ちゃんと
答えろよ

らめ…っ
♡



あゝおけ
了解了解

「もっと
優しく」ね



もう
すこし…

や…
やしゃしくー



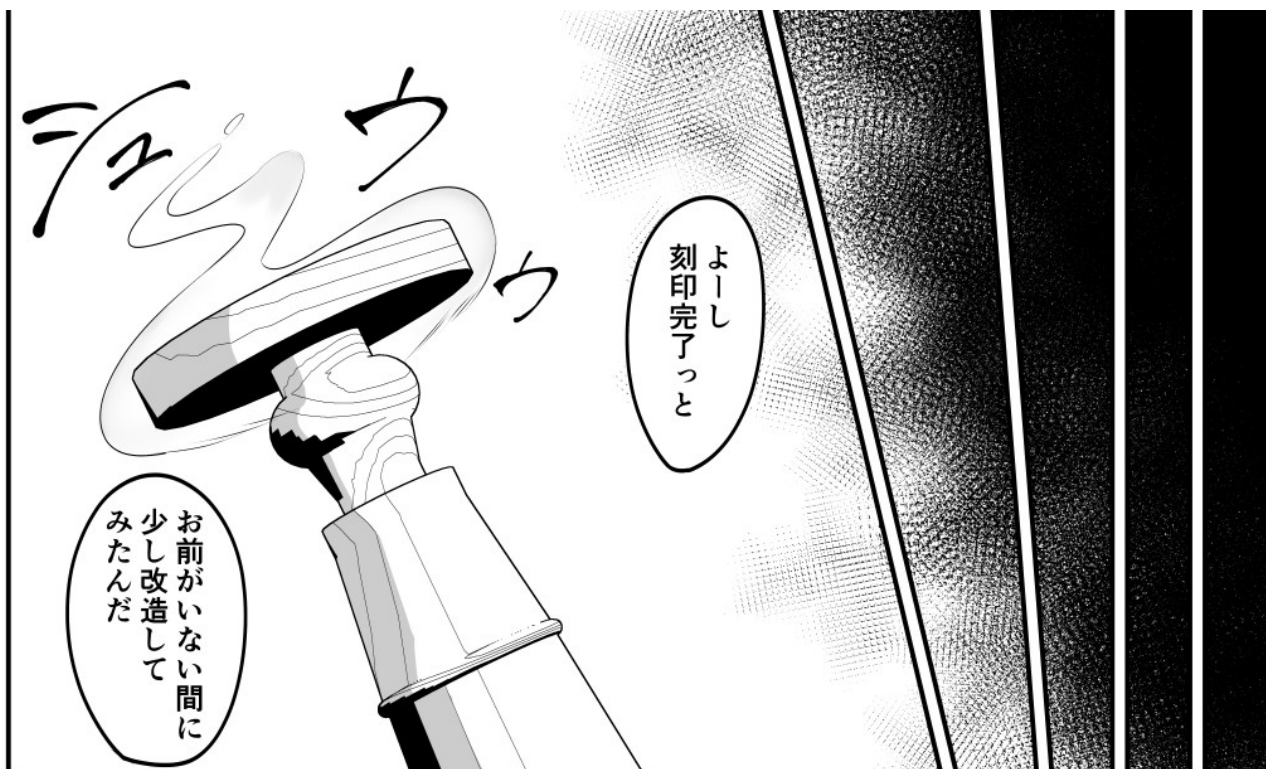
返事!

ふあ…
ふあい…

おい
これくらいで
へばるなよ
まだまだ
物足りないよな?

…ふう

…





時間ならたっぷりある
それまでに謝罪の言葉を
よく考えておくんだぞ

内容次第で
延長するか
決めるからな

発行日： 2024/03/09
サークル： Pitapita
Twitter： @PitaPita_Pi
pixiv ID： 44433394

★よろしければ高評価していただけると次回作の励みになります…！